

戦略的マテハン 機器動向

経営資源が限られる昨今、戦略的な物流現場を構築するためには、保管、搬送、仕分け、ピッキング、情報システムなど、“マテリアルハンドリング(マテハン)”の多様な要素が欠かせません。様々なマテハンを組み合わせ、最適・最良の仕組みに仕上げることができれば、あらゆる物流現場ニーズに応えることができます。

今回は、ロジスティクスとマテハンの関係、各種機器紹介、導入留意点、日本と欧米の比較、事例紹介など、総合的にマテハンを学べる講座を開設しました。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。



日程 2015年1月23日(金) 13:00~17:30 ※受付開始 12:40~

場所 日本通運本社ビル 4階 会議室C 住所:東京都港区東新橋1-9-3

参加料金 20,000円(税込) / 1名様

※定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
※参加料金は2015年1月22日までに振込みください。
※振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

定員 定員60名 (最少開催人数:20名)

弊社WEBサイトよりエントリーを行ってください。エントリー受付後、セミナーのご案内および請求書を郵送いたします。

www.nittsu-soken.co.jp/seminar

お申し込みは WEBサイトから

【キャンセル規定】

キャンセルの場合は、開催日の前日より数えて6営業日前の18時までに、事務局までご連絡ください。それ以降のキャンセルは、下記のキャンセル料を申し受けます。

- ・開催日の5営業日前~前々営業日...参加料の30%
- ・開催日の前営業日~当日...参加料の全額

カリキュラム

カリキュラムは変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
適宜、休憩をはさみます。

オリエンテーション			13:00～13:05
1	マテハン(MH) 合理化の目的	1. 1 ロジスティクスとMH ーロジスティクスの範囲とMHの関係を解説	13:05～13:25
		1. 2 MH合理化の目的と効果 ーMH合理化によって得られるもの	
2	MH機器開発の歴史	2. 1 戦前から復興期・高度成長期 ー荷役の時代からMHの時代へ	13:25～13:50
		2. 2 FAとDAそしてSCMの時代 ーオートメーションからマネジメントの時代へ	
		2. 3 モノを動かす技術から価値創造技術へ ー更にMHの進化の時代へ	
		2. 4 近未来の技術と実用化の試み ー革新的MHソリューションの試み	
3	主要MH機器	3. 1 仕分け装置 ー仕分け装置の機種・機能と用途	13:50～14:50
		3. 2 ピッキング機器 ーピッキング機器の機種・機能と用途	
		3. 3 垂直搬送機 ー垂直搬送機の機種・機能と用途	
		3. 4 その他のMH機器 ーパレタイザー、デパレタイザーの概要	
休憩			14:50～15:00
4	主要保管機器	4. 1 各種保管機器の概要と用途 ー保管機器の機種・機能と用途	15:00～16:00
		4. 2 自動倉庫の導入メリット ーフロー倉庫と比較してメリットを解説	
		4. 3 自動倉庫の導入時の留意点 ー導入時に留意する事項の解説	
		4. 4 保管機器の比較(パレット系) ー作業面、在庫管理、保管、設置条件等の比較	
5	海外のMH機器と 国内のMH機器	5. 1 米国におけるMH機器の動向 ー米国のMH機器の動向と特徴(日本との比較)	16:00～16:15
		5. 2 欧州におけるMH機器の動向 ー欧州のMH機器の動向と特徴(日本との比較)	
6	人材難時代の MH機器の動向	6. 1 センター内荷揃え・出荷の自動化 ーパレット系荷揃え出荷・ケース系荷揃え出荷の自動化	16:15～16:45
		6. 2 物流後工程の省人化 ー店舗納品の検品レス化・店舗内陳列棚別商品供給システム	
		6. 3 各種MH機器のシステム化と管理 ー最適MH機器の導入と管理システム	
7	物流センター例	映像による物流センターの紹介	16:45～17:00
8	質疑応答	受講者からの質疑と応答	17:10～17:30



講師プロフィール

池田 徳光(いけだ とくみつ)

マテハン機器のリーディングカンパニーである株式会社ダイフクにて、低温物流倉庫を中心に国内外数多くのプロジェクト責任者として広く指揮を執る。現在では、日本MH協会技術参与として、物流講座の講師に就く。



日通総合研究所のプロフィール

1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルテーションを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3

日通本社ビル8F

TEL:03-6251-3277 FAX:03-6251-6450

事務局担当: 高田

